

114
A 798
1

極秘

第一種

秘 密 第一種 第一號

大正十一年四月贈

明治三十一年六月二十日馬尼刺殺

陸軍砲兵大尉時澤右一第廿一報告

一 本日栢島艦乗組將校ト共同艦小蒸汽船ニ塔ジカヴィテ
 ラ一覽セリ其序ヲ以テエミリヨアギナルド及ヒ其副官
 「ヒリヤヌエーグ」ト短時間ノ會話ヲ試ミタリ其要
 点尤ノ如シ

ニ 及後ノ武器ハ小銃八千挺、大砲六門ニシテ小銃ハ數種類
 ヲリ成リ彈藥ハ可成リ充分ナリ

及後ノ最モ恐ル所ハ米ノ陸兵到着シテ馬尼刺ヲ占
 領スルニ在リ故ニ頗ル馬尼刺攻撃ヲ急ギツ、アレドモ前
 記ノ武器ニテハ勝算覺束ナシト思意シ近々馬尼刺ヲ

265

7-1

165
1-24



大舉ヲ攻敵手スルノ決心ナシ

但シ目下香港ニ於テ小銃五千挺購買中ナルヲ以テ此
小銃到着セバ直ニ總攻撃ニ取掛ルノ決心ナル由
三及徒ノ軍資金ハ目下欠乏セリ然レドモ遠カラズ集メ得
ル見込ナル由

四「アギナルド」ノ大統領承認ハ路遠クシテ書信ノ往復ニ遅マアラ
サルニニ州郡ヲ除クノ外悉ク之ヲ承認シタリ

五及徒ハ「カウイテ」ニ在ル西班牙ノ國獲大砲ヲ使用セシ
テ米提督ニ申出デシニ提督ハ之ヲ許サザリシ
此事ノ實ハ及徒ノ手ヲ以テ馬尼刺ヲ陷ルハ米ノ好マザ
ル所ナルヲ知ル

六「カウイテ」ニ於ケル米ノ占領區域ハ極メテ狭少ニシテ單ニ
「カウイテ」ノ武庫ノミニ限レリ武庫以外ニ米人ノ隻

影ヲ見ズ

七「サポー」テ河ノ戦闘ニ米人ノ死傷者アリシ昔西班牙人ハ
傳唱スレドモ虚説ナリ

八南部司令官少將「ロピア」ハ一大佐三千ノ兵ト共ニ及
徒ノ捕虜トナリ其大部ハ「カウイテ」ニ閉鎖セラレアリ

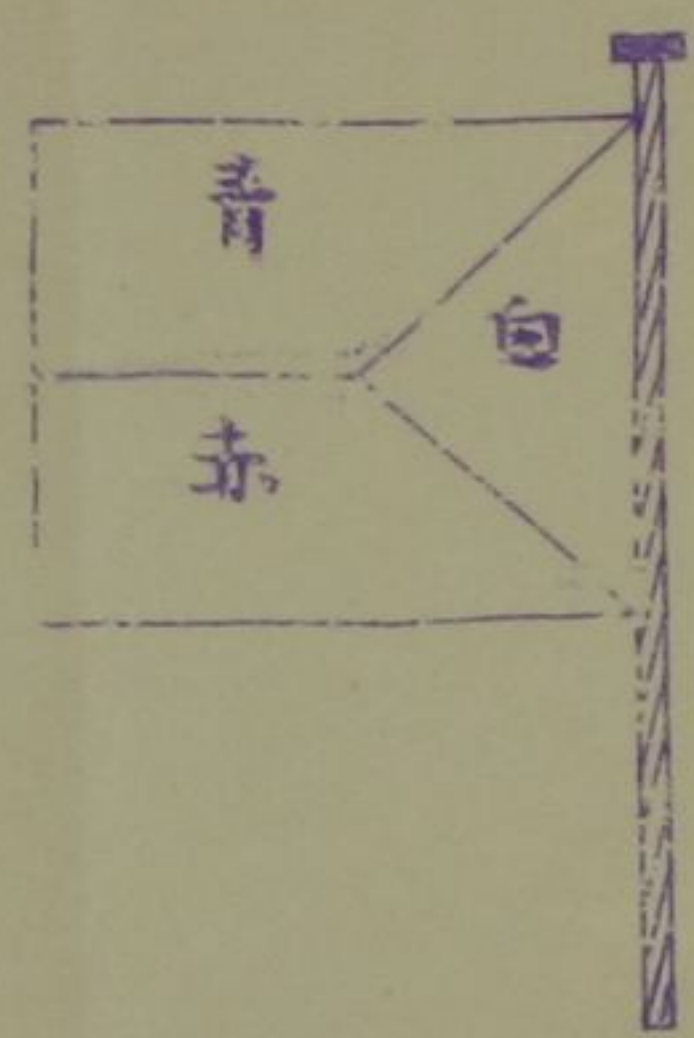
九本日及昨日及徒ハ西ノ負傷者ヲ馬尼刺ニ送還セリ

十及徒ノ動作ハ二般ニ野蠻的ニ流ルルヲ避ケテアリ
米ノ哨兵及ビ下士勤務中ニ於テ婦女子ト喃語シテ戯
ルヲ見ル

以上「カウイテ」所聞

十一独艦ノ当港ニ碇泊スルモノ現在四隻中將「アドミラル」某
アリ
西人ノ風説ニ據レバ「馬尼刺」砲撃ヲ独ヒノ好ム所ニ

非ズト独シテ
 「吾が眼ノ黒キ間ハ米ハ勿論何レノ邦國モ菲律賓賓ニ於テ
 意ヲ恣マニスル」能ハズト独シ領事ハ放言セリ
 近來西人大ニ独シ好意ヲ表シ領事ト總督トノ往
 來稍頻繁ナリ
 米艦ヲリヒビヤノ某士官ハ独シ士官上陸スルヤ否マ及ヒ
 其拳動ノ如何ヲ熱心ニ質問セリ
 以上ノ事實ハ独シ西米ノ間ニ何事カ存在スベキヲ
 疑ハシム
 此「ブロッグハウズ」線ハ「カローカ」ニ方面ニ於テ破ラレ西軍ハ
 「トンド」ノ西端ヲ守備セリ
 此及待ノ國旗ハ左圖ノ如シ



此「イサバ」アルダケ「前内務大臣」ニシテ曾ツラ「アギナル」ト不和ナ
 リハ明日「カウイ」ニ到「着」ノ答兩人ノ調停成リタル由
 去未ト及待トノ關係ハ根本的ヨリ相援ケ相親ムモノニ非ズシ
 フ行懸リ上暫ク相和スルモノト見テ語リ「」
 (終)

